

2020年度

# E 世界史問題

## 注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてH Bの黒鉛筆またはH Bの黒のシャープペンシルで記入することになっています。H Bの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は8ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

### マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとて採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにH Bの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきれいに取り除いてください。

マーク記入例： 

A	1 2 3 4 5
	○ ○ ○ ○ ○

 (3と解答する場合)

I . 次の文を読み、下記の設問 A ・ B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

ユーラシアの草原地帯では遅くとも紀元前 9 世紀から前 8 世紀には遊牧民が確認される。  
彼らの生活様式を規定する遊牧とは、家畜と共に季節的な移動をおこなって生活をおくることである。遊牧民は遊牧国家を形成し、それは時として帝国と呼ばれるほど巨大なものとなる。ユーラシアにおいて、その多くはモンゴル高原から発生した。チンギス＝ハンが建国したモンゴル帝国もその例に漏れないが、多くの都市や定住民が支配下に入り、もはや単純に遊牧国家と呼ぶことはできない。

遊牧民は定住世界との関わりなくしては生きてゆくことはできなかった。農耕作物や手工業品の多くは遊牧経済では産出されないため、定住世界から調達する必要があった。  
しかし、その方法は常に略奪によっていたわけではない。むしろ、遊牧世界と定住世界の関係が安定している場合には交易によって遊牧経済が補完されていた。その関係のバランスが崩れた時、遊牧民や域外民族による略奪がおこなわれたり、場合によっては戦争にまで発展したのである。

対して定住国家側も軍事力で対抗するばかりでなく、金錢などの代価を与えることで関係を維持しようとした。しかし、重火器が発達し、諸国の軍隊に砲兵が組み込まれようになると、遊牧民の軍事的な優位性は徐々に失われていく。16世紀以降、ロシアは次々に周辺の遊牧民や遊牧国家を服属させ、領土を拡張した。（イ）人が建てた3ハン国も19世紀後半にはロシアの影響下に置かれた。一方、18世紀には清朝がオイラト部から派生した（ロ）部を支配下に置いて中央アジア東部に進出し、以後、その土地は新疆と呼ばれるようになる。

A. 文中の空所(イ)・(ロ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部 1)～9)にそれぞれ対応する次の問 1～9 に答えよ。

1. この地域はステップ地帯と呼ばれ、ここを東西に横断する「草原の道」は、古来、交易路として利用された。この「草原の道」に含まれないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

- a. アルタイ山脈      b. カザフ草原      c. シル川流域      d. パミール高原

2. この地域を支配拠点とする遊牧国家を建設した民族ではないものを、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 匈奴                  b. 柔然                  c. 女真                  d. 鮮卑
3. これに関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. この帝国の継承者を称したバーブルにより建国された王朝の名をしるせ。
- ii. この帝国と同じく、もともと遊牧民が建て、11世紀にその君主がバグダードでスルタンの称号を授かった王朝は何か。その名をしるせ。
4. 9世紀以後、中国と東南アジア・インドやイスラーム世界を結んだ海上交通路では、陸路では運搬が困難な、ある手工業品が盛んに取引された。現在、そのルートはその品に因んで何と呼ばれているか。その名をしるせ。
5. こうした定住世界への圧迫はユーラシアの東西にわたった。5世紀半ばに中央アジアからバルト海・ドナウ川に至る大国家を築き上げ、ゴート人を圧迫してローマ帝国領内に侵入したファン人の王は誰か。その名をしるせ。
6. これに関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. 府兵制の崩壊後、辺境募兵軍団の指揮官として置かれた軍職は節度使と呼ばれる。その統率下にあった軍事機関は何と呼ばれるか。その名を漢字 2 字でしるせ。
- ii. 17世紀前半に成立した後金（アイシン）において、民族ごとに編成され、社会組織・行政組織としても機能した軍事組織は何と呼ばれるか。その名をしるせ。
7. これに関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. 金銭などを代価として和約を結んだ中国の王朝と域外民族の組み合わせとして正しくないものを、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 漢と匈奴                  b. 宋とタングート
- c. 唐とカラ＝キタイ                  d. 明とモンゴル
- ii. モンゴルへの貢納・軍役の義務と引き替えに、ロシア諸公国との徴税権を得て、後に独立してロシアを支配した国の名をしるせ。
8. これに関する次の問 i～iv に答えよ。
- i. モンゴルの支配を脱し、ビザンツ皇帝の姪と結婚してツァーリ（皇帝）の称号を初めて用いた人物は誰か。その名をしるせ。
- ii. 19世紀前半の 2 度にわたるロシアとイラン（カージャール朝）との戦争の結果、イランはロシアと講和条約を結んだ。ロシアに領事裁判権を認めたこの条約の名をしるせ。

- iii. 19世紀後半に黒海とバルカンの支配権を巡ってロシア＝トルコ戦争が起きた。それを口実に憲法を停止し、専制政治をおこなったオスマン帝国のスルタンは誰か。その名をしるせ。
- iv. 19世紀以後、ロシアの支配下にあった北カフカースのある地域では、ソ連の崩壊により民族独立の動きが強まり、1994年、1999年と大規模な紛争が起こった。この紛争の名をしるせ。
9. この3ハン国の中、もっとも東側に位置し、1876年にロシアに併合された国の名をしるせ。

## II. 次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

産業革命後、イギリスの資本や工場の海外進出、海外の植民地獲得と移民の送り出し、<sup>1)</sup>英語の普及、政治経済の思想や法の輸出などが進み、その影響はイギリス帝国の領土にとどまらず、<sup>2)</sup>世界に広がった。その過程で、イギリス政府は自国の海外貿易網を拡大するため、必要とあれば政治や軍事の力を振るい、各地の閉鎖的な市場の壁を破っていった。とくに、アメリカの13植民地を喪失した後、<sup>3)</sup>この「自由貿易帝国主義」の政策が明らかになつた。<sup>4)</sup>

イギリスはナポレオン軍を破って、西インド諸島のフランス領とスペイン領を獲得し、<sup>5)</sup>1806年にブエノスアイレスに進駐して、ポルトガルの王家をブラジルに復帰させた。さらに、1810年にはブラジルの新政府と自国製品にはほぼ関税をかけさせないという条約を結んだ。こうして、植民地における独立の動きに対応し、ブエノスアイレスの新政権やメキシコ、<sup>6)</sup>コロンビアの独立もいち早く承認して自由貿易を促す条約を締結し、スペイン帝国の貿易独占を破って自国製品の輸出市場を拡大した。アジアでも、17世紀以来ヨーロッパから（イ）人が進出・支配していたジャワ島を、ナポレオン戦争中の1811年に占領した。ジャワ副総督を務めたラッフルズは、まもなく拠点となる植民地港市の（ロ）を建設し、マラッカ海峡の貿易ルートとマレー半島における支配地域を形成した。<sup>7)</sup>

しかし、この政策が成功しにくい地域もあった。独立後のアメリカ合衆国では、綿花を産出する南部がイギリスとの自由貿易を尊重したものの、北部の資本家はイギリスの覇権を阻もうとした。中国の市場もなかなか独占できず、1840～42年の戦争と、1856～60年の（ハ）戦争の後、イギリスは中国との貿易を増やしたが、中国社会はかえって不安定化し、太平天国の乱が広がった。<sup>8)</sup>

ともあれ、日本などから関税自主権を奪う条約、ザンジバル、シャム、モロッコから一方的に最惠国待遇を受ける条約、アフリカの多くの部族長と結んだ奴隸貿易禁止条約などを使って、イギリスは自由貿易を謳って覇権を築いた。また、イギリスはロシアとの穀物貿易の自由化を望んだが、ロシアはこの要求に応じなかつたため、より弱い立場にあるオスマン帝国と自由貿易を進めるための条約を締結した。<sup>9)</sup>

その後も、このような外交的な圧力だけでは自国の利益を守り切れないと判断すると、イギリス政府は軍事的な介入を辞さなかった。エジプトが顕著な例である。1870年代のエジプトは外国からの借款などにより財政危機に陥り、イギリスとフランスが財政を管理する体制を敷いた。これが地元の強い反発を呼び、「エジプト人のためのエジプト」を主張する（ニ）の反乱が1881～82年に起こった。イギリスは軍隊を送って反乱を鎮圧し、エ

ジプトを占領する。イギリスが大株主となった（ホ）運河の防衛、投資家の利益、フランスによる植民地化の恐れ、本国と英領インドを結ぶ海上ルートの防衛などが考慮された。イギリスのエジプト占領を境に、<sup>13)</sup>列強による「アフリカ分割」の時代が到来し、東ア  
ジアや太平洋諸島にも帝国主義的競争の荒波が押し寄せた。<sup>14)</sup>

A. 文中の空所(イ)～(ホ)それぞれにあてはまる適當な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～14)にそれぞれ対応する次の問1～14に答えよ。

1. 近代以降のイギリスは、多くの植民地を獲得した。これに関する記述として正しくないものはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
  - a. ケープ植民地は、1814～15年に開かれたウィーン会議でイギリス領と認められた
  - b. ドレイクのオーストラリア上陸後、イギリスはここに流刑植民地を建設した
  - c. フォークランド諸島をめぐり、1982年イギリスとアルゼンチンの戦争が起こった
  - d. フランスの植民地であったケベックは、七年戦争後にイギリス領となった
2. これに関連して、「最大多数の最大幸福」を説き、体系的な民法や刑法の制定をめざした、イギリス功利主義哲学の創始者は誰か。その名をしるせ。
3. この帝国の歴史に関する記述として正しくないものはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
  - a. アヘン戦争後にイギリスが獲得した香港は、1997年に中国に返還された
  - b. イギリス東インド会社はプラッサーの戦いに勝利し、インド進出の足場を得た
  - c. ゴードン総督は、南アフリカでダイヤモンドや金の鉱山の開発を推進した
  - d. 1916年4月アイルランドで、独立をめざす武装闘争が起こった
4. この植民地の人々が、本国の強硬な財政・通商政策に反発した結果、起こった出来事に関する記述として正しくないものはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
  - a. イギリス東インド会社の独占貿易が廃止され、ボストン茶会事件が起こった
  - b. 印紙法に対して「代表なくして課税なし」という抗議が起こった
  - c. 独立宣言では、イギリス王ジョージ3世の暴政が厳しく批判された
  - d. レキシントンとコンコードで武力衝突が起り、独立戦争の火ぶたが切られた
5. この地域のイスパニョーラ島西部では、フランス革命の時期に奴隸解放運動が強まり、1804年にアフリカ系の指導者の率いる独立共和国が樹立された。この国の名をしるせ。

6. 帝国や多民族国家が動搖し解体するとき、独立國家が誕生しやすい。これに関する記述として正しくないものはどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ソ連が解体に向かう過程で、バルト 3 国が独立を承認された
  - b. 第一次世界大戦後、ポーランドの独立がパリ講和会議で承認された
  - c. 第二次世界大戦後、セイロンはイギリス連邦内の自治領として独立した
  - d. ベルギーはスペインとの長年の争いを経て、三十年戦争後に独立を承認された
7. この地域の中央高原では、スペインのコルテスの征服より前、14~16世紀にはいくつかの王国が存在した。そのうちもっとも勢力の強かった王国の都の名をしるせ。
8. この人物がジャワ島中部で発見したとされる、シャイレンドラ朝最大の大乗仏教遺跡の名をしるせ。
9. この反乱の過程で、キリスト教的な秘密結社である挾上帝会が、清朝に抵抗して独自の政権を樹立した。この挾上帝会を創始した人物は誰か。その名をしるせ。
10. これに関する記述として正しくないものはどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アメリカ大陸の植民地では、アフリカ大陸から連れてこられた人々がプランテーションで奴隸として酷使された
  - b. イスラーム世界では、マムルークと呼ばれた奴隸出身の人々が、軍人として重用された
  - c. 古代ギリシアでは、剣闘士奴隸であったスパルタクスの率いる大反乱が起こった
  - d. 南北戦争中、共和党のリンカン大統領が奴隸解放宣言を発した
11. この国が不凍港を求めて18世紀後半にオスマン帝国から奪い、セヴァストーポリ要塞を築いた、黒海に臨む半島の名をしるせ。
12. この地域で、ナポレオン軍の侵攻に抵抗し、1805年にはオスマン帝国からエジプト総督に任命され、後にワッハーブ王国を滅ぼすとともに、エジプトの近代化を推進しようとした人物は誰か。その名をしるせ。
13. この植民地で、法律家や知識人らが1885年に発足させた組織は、その後、ナショナリズム運動の担い手となっていった。この組織の名をしるせ。
14. これに関連し、フィリピンの独立運動が高まった1898年、アメリカとスペインの戦争が起り、勝利したアメリカがフィリピンの領有権を獲得した。このときのアメリカ大統領の名をしるせ。

【以下余白】